



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日

上場会社名 日本化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4092 URL http://www.nippon-chem.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 棚橋 洋太  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐藤 学 TEL 03-3636-8038  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,302	2.3	1,642	△7.5	1,694	△8.5	1,121	△14.4
2019年3月期第2四半期	17,888	0.3	1,774	18.7	1,851	23.0	1,310	20.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 794百万円 (△54.7%) 2019年3月期第2四半期 1,753百万円 (18.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	127.52	—
2019年3月期第2四半期	148.95	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	63,650	36,028	56.6
2019年3月期	65,497	35,497	54.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 36,028百万円 2019年3月期 35,497百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	40.00	—	30.00	70.00
2020年3月期	—	35.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※2019年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当金 30円00銭 創業125周年記念配当金 10円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	3.7	3,100	0.5	3,100	1.4	2,200	2.1	250.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	8,922,775株	2019年3月期	8,922,775株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	126,863株	2019年3月期	126,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	8,796,028株	2019年3月期2Q	8,796,185株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復が続きました。しかし一方で、米中貿易摩擦の激化や英国のEU離脱問題、日韓関係の悪化等海外情勢の不確実性が高まっており、また、消費増税の影響も懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に掲げる「重点分野への集中投資」、「海外戦略の積極的展開」、「経営基盤の強化」という3つの重点施策を持続的な成長に向け、全社一丸となって進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は183億2百万円（前年同期比4億1千3百万円増）となり、経常利益は16億9千4百万円（同1億5千7百万円減）となりました。

この経常利益に、投資有価証券売却益2千1百万円の特別利益、固定資産除却損1億2千9百万円の特別損失及び法人税等4億4千5百万円を差引き、更に法人税等調整額1千9百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億2千1百万円（同1億8千8百万円減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### ①化学品事業

化学品事業では、クロム製品はめっき向けが落ち込んだことにより、売上高は減少しました。シリカ製品は環境関連向けが大幅に伸びたことにより、売上高は大きく増加しました。燐製品は光学ガラス向けが低調に推移したことにより、売上高は減少しました。リチウム製品はグリーンスや光学ガラス向けが落ち込んだことにより、売上高は減少しました。この結果、化学品事業の売上高は、78億2千8百万円（同4百万円減）となりました。

#### ②機能品事業

機能品事業では、ホスフィン誘導体は海外向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。農薬は海外向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。電池材料は主要顧客向けが堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。電子セラミック材料は自動車・通信向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。回路材料は主要顧客向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。バリウム製品は光学向けが落ち込んだものの、電子材料向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。ホスフインは半導体向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。医薬中間体は主要顧客向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。この結果、機能品事業の売上高は、80億9千8百万円（同8億3千9百万円増）となりました。

#### ③賃貸事業

賃貸事業は、イオンタウン郡山において増築した店舗の賃貸を開始したことにより、売上高は増加しました。この結果、賃貸事業の売上高は、4億5千5百万円（同5百万円増）となりました。

#### ④空調関連事業

空調関連事業は、新規設計・施工及びメンテナンス需要が低調に推移したことにより、売上高は減少しました。この結果、空調関連事業の売上高は、14億9千4百万円（同4億1千5百万円減）となりました。

#### ⑤その他

書店事業は、低調に推移したことにより、売上高は減少しました。この結果、報告セグメントに含まれない事業セグメントの売上高は、4億2千5百万円（同1千2百万円減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ18億4千7百万円減少し、純資産は5億3千万円増加しております。その結果、自己資本比率は54.2%から56.6%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、現金及び預金が31億9千6百万円減少し、受取手形及び売掛金が6億7千4百万円増加し、原材料及び貯蔵品が5億4千万円減少しております。

固定資産では、有形固定資産が15億1千5百万円増加し、無形固定資産が8千万円増加し、投資有価証券が4億3千6百万円減少しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が13億6千4百万円減少し、短期借入金が13億7千万円減少し、未払法人税等が1億1千7百万円増加し、設備関係未払金が3億2千8百万円減少しております。

固定負債では、長期借入金4億8千1百万円増加しております。

株主資本では、利益剰余金が8億5千7百万円増加しております。

その他の包括利益累計額では、その他有価証券評価差額金が2億7千7百万円減少しております。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、11億7千9百万円の収入（前年同期は14億1千5百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益15億8千6百万円に対し、減価償却費12億5千5百万円の他、売上債権の増加額6億4千8百万円、たな卸資産の減少額7億6千1百万円、仕入債務の減少額16億3千3百万円等、営業取引に係る資産負債の増減額を加減したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に設備投資により32億1千9百万円の支出（前年同期は16億6千5百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払等により、11億5千7百万円の支出（前年同期は7億9千7百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ31億9千6百万円減少し、58億4千4百万円となりました。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローと配当金を減算したフリーキャッシュ・フローは、23億2百万円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,051	5,854
受取手形及び売掛金	10,861	11,535
商品及び製品	4,712	4,345
仕掛品	2,310	2,456
原材料及び貯蔵品	3,342	2,801
未収消費税等	4	—
その他	532	766
貸倒引当金	△20	△21
流動資産合計	30,794	27,738
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,721	34,136
減価償却累計額	△21,631	△21,856
建物及び構築物 (純額)	11,090	12,280
機械装置及び運搬具	9,307	11,669
減価償却累計額	△4,470	△5,063
機械装置及び運搬具 (純額)	4,836	6,606
土地	7,730	7,730
建設仮勘定	2,567	1,072
その他	6,303	6,420
減価償却累計額	△5,513	△5,580
その他 (純額)	789	839
有形固定資産合計	27,014	28,530
無形固定資産		
のれん	62	55
その他	257	344
無形固定資産合計	319	399
投資その他の資産		
投資有価証券	6,597	6,160
長期貸付金	37	29
繰延税金資産	141	155
退職給付に係る資産	165	219
その他	450	439
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	7,368	6,981
固定資産合計	34,703	35,911
資産合計	65,497	63,650

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,617	3,253
短期借入金	9,143	7,772
未払法人税等	346	463
未払消費税等	24	113
賞与引当金	432	416
設備関係未払金	2,361	2,032
その他	2,000	1,908
流動負債合計	18,925	15,960
固定負債		
長期借入金	5,422	5,903
繰延税金負債	2,118	2,010
退職給付に係る負債	1,299	1,358
その他	2,233	2,388
固定負債合計	11,073	11,661
負債合計	29,999	27,622
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,269	2,269
利益剰余金	24,840	25,698
自己株式	△353	△353
株主資本合計	32,514	33,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,792	2,515
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	11	3
退職給付に係る調整累計額	179	137
その他の包括利益累計額合計	2,983	2,656
純資産合計	35,497	36,028
負債純資産合計	65,497	63,650

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	17,888	18,302
売上原価	13,697	14,152
売上総利益	4,191	4,149
販売費及び一般管理費	2,416	2,507
営業利益	1,774	1,642
営業外収益		
受取利息及び配当金	68	69
持分法による投資利益	68	18
その他	74	49
営業外収益合計	210	137
営業外費用		
支払利息	36	37
環境対策費	63	11
その他	33	36
営業外費用合計	134	85
経常利益	1,851	1,694
特別利益		
投資有価証券売却益	—	21
特別利益合計	—	21
特別損失		
固定資産除却損	36	129
特別損失合計	36	129
税金等調整前四半期純利益	1,815	1,586
法人税、住民税及び事業税	434	445
法人税等調整額	70	19
法人税等合計	505	465
四半期純利益	1,310	1,121
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,310	1,121



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,310	1,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	450	△277
繰延ヘッジ損益	2	△0
退職給付に係る調整額	△3	△41
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△7
その他の包括利益合計	443	△326
四半期包括利益	1,753	794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,753	794

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,815	1,586
減価償却費	1,039	1,255
のれん償却額	—	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	△16
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8	58
受取利息及び受取配当金	△68	△69
持分法による投資損益 (△は益)	△68	△18
支払利息	36	37
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△21
固定資産除却損	36	129
売上債権の増減額 (△は増加)	732	△648
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,050	761
仕入債務の増減額 (△は減少)	△48	△1,633
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△72	93
その他	△138	△40
小計	2,208	1,482
利息及び配当金の受取額	68	70
利息の支払額	△36	△38
法人税等の支払額	△828	△335
法人税等の還付額	3	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,415	1,179
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,591	△3,125
有形固定資産の売却による収入	—	2
無形固定資産の取得による支出	△8	△113
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の売却による収入	—	42
貸付けによる支出	△1	△0
貸付金の回収による収入	16	15
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△67	—
その他	△9	△38
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,665	△3,219
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△30	△170
長期借入れによる収入	—	1,200
長期借入金の返済による支出	△500	△1,918
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3	△4
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△263	△263
財務活動によるキャッシュ・フロー	△797	△1,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,044	△3,196
現金及び現金同等物の期首残高	8,927	9,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,882	5,844

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	空調関連事 業	計				
売上高									
外部顧客への売 上高	7,833	7,258	450	1,909	17,450	437	17,888	—	17,888
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1	—	10	1	13	120	134	△134	—
計	7,834	7,258	460	1,911	17,464	558	18,022	△134	17,888
セグメント利益又は 損失(△)	392	816	277	267	1,754	9	1,764	10	1,774

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額10百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	空調関連事 業	計				
売上高									
外部顧客への売 上高	7,828	8,098	455	1,494	17,876	425	18,302	—	18,302
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2	—	10	2	15	140	156	△156	—
計	7,830	8,098	466	1,497	17,892	566	18,458	△156	18,302
セグメント利益又は 損失(△)	401	979	265	△27	1,619	11	1,631	10	1,642

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額10百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。